マシュー・マコノヒー氏（俳優・映画プロデューサー）、映画産業への顕著な貢献によりパイパー・エドシック社とアメリカン・シネマテークから表彰

第２８回アメリカン・シネマテーク・アワードは俳優・映画プロデューサーのマシュー・マコノヒー氏に贈られ、シャンペンハウスのパイパー・エドシック社により彼の経歴と業績に賛辞が寄せられた。

マシュー・マコノヒー氏は仕事仲間と映画界の大スター達が見守る中、映画監督クリストファー・ノーラン氏から賞を手渡された。

この賞は、映画文化の発展を目的とする独立系非営利団体アメリカン・シネマテークが毎年「娯楽産業に献身し映像芸術に顕著な貢献をした非凡なアーティスト」を讃えるものである。

マコノヒー氏はアカデミー主演男優賞を受けた出演映画「バッド・チューニング」「ダラス・バイヤーズクラブ」や、テレビドラマ「二人の刑事」などの役により、キャリアを通して俳優としての力量を世に知らしめるとともに常に自身の表現の幅を広げてきた。

フランスを拠点とするパイパー・エドシック社の広報ダニエル・カバレイロ氏は次のようにコメントを述べた。「マシュー・マコノヒー氏のような、第七芸術（映画）に多大な影響を与えた素晴らしいアーティストを讃えることをパイパー・エドシック社はとても光栄に思います。権威あるアメリカン・シネマテークのパートナーとして二年目を迎えることができただけでなく、カンヌ映画祭の由緒ある公式サプライヤーとして、また最近ではAACTA（オーストラリア映画テレビ芸術アカデミー賞）のサプライヤーとして、全世界の映画芸術への貢献者を讃える活動をお手伝いし続けられることをとても幸せに思います。」

最古のシャンペンハウスの一つで1785年創業のパイパー・エドシック社は、これまで数々の映画式典のシャンパーニュとして様々な歴史的瞬間に立ち会い、忘れることの出来ない感動を人々に届けてきた。“Grande Soit La Vie”（素晴らしい人生を）の言葉を体現するかのごとく、人生と映画だけがもたらし得る一生ものの感動をパイパー・エドシック社は演出し続けている。

ワインボトルの真紅のラベルは、情熱的、独創的、かつ実績に裏付けられたパイパー・エドシックの上品さを象徴している。パイパー・エドシック社は映画館のカーペットにも自社のイメージカラーである赤に大胆に反映させ、過去何十年にもわたり自社と映画産業とのイメージを定着させてきた。カンヌ国際映画祭の公式サプライヤ(1993年～)をはじめ、パイパー・エドシックはベニス、東京、ボストン、ロンドン、サン・セバスティアンなど世界各都市の映画祭やシネマテーク・フランセーズなどの映画施設の活動支援をしてきており、また2013年からはアメリカン・シネマテークの名誉パートナーに名を連ねている。

アメリカン・シネマテークはフィルメックス・ロサンゼルス・映画祭から1981年に派生した組織で、現在は例年の映画祭を主催しているほか、過去から現在までの古典から前衛芸術にわたる世界中の映画・動画・テレビ作品の公開上映を続けている。アメリカン・シネマテークは、映画文化全般に関わるセレモニーや展示会を主催するだけでなく、世界中から映画作家、俳優、脚本家、編集家、カメラマンなど映画界の著名人を招き映画愛好家や学生のための講演会を開催する活動も行っている。